

2022年3月

2022年度ロングステイ観光学会 分科会募集のお知らせ

ロングステイ観光学会事務局

1. 分科会制度の概要

ロングステイ学会では、国内及び国外における長期滞在型観光に関する学術研究の向上と社会に対して広くロングステイの普及促進を図るため活動の分析・把握を目的として、研究グループを組織して活動する分科会を募集します。ロングステイにかかわる様々なテーマが設定可能で、希望する分科会には審査のうえ研究助成金が交付されます。また助成金がない場合でも、学会が公認する研究グループとして分科会名を使用していただけます。採択された分科会名はホームページなどで会員に告知し、テーマに興味のある会員が、分科会が開催する勉強会や研究会に参加し、会員間の交流の場となることが期待されます。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

2. 公募の期間

2022年3月～9月末日（予定）

※期間内で随時申請を受け付けます。

※全体の助成額の上限に至り次第終了予定です。

3. 分科会テーマ例

分科会テーマの設定は、ロングステイ観光にかかわるものであれば自由です。以下はその一例です。各テーマの詳細については学会 HP をご覧ください。

テーマ例：

ロングステイの事例研究

① 地域ごとのロングステイ研究会

② 海外ロングステイの経験者のテーマ別調査

③ 国内ロングステイ宿泊施設

④ ロングステイ経験者からの体験レポート

⑤ 地方創成(DMO) とロングステイ観光：成功している地域はどこか？

- ⑥海外における日本人ロングステイ村の形成
- ⑦ロングステイヤーが地元と交流のできる組織の形成
- ⑧ロングステイ観光を促進する旅行会社の取り組み
- ⑨企業等における「ワーケーション」の促進状況・具体的実践事例
- ⑩企業等における「二地点居住」の促進状況・具体的実践事例
- ⑪企業等における「居住地を問わない働き方」に関する促進状況・具体的実践事例
- ⑫企業等における「地域に居住し、本業を兼ねて地域に貢献する働き方」に関する促進状況・具体的実践事例
- ⑬⑨～⑫の4点にかかわる企業内人事制度・評価制度・福利厚生等に関する制度設計および運用事例
- 多様化するロングステイの在り方についての研究
- ①ロングステイ観光の全体像・どんなロングステイの形があるか？
- ②世代別ロングステイのモデル
- ③都市型ロングステイ観光
- ④外国人のロングステイ（バカンス旅行）の実態調査
- ⑤タイ・マレーシア・韓国などが進める滞在型医療の実態
- ⑥海外の温泉・保養所研究（ドイツ・イタリアなど）
- ⑦ロングステイ観光の参加者の変化
- ロングステイヤーの生活についての調査研究
- ①ロングステイと食事
- ②ロングステイと職業
- ロングステイ促進に向けての研究
- ①休暇制度とロングステイ
- ②ロングステイを支える条件
- 新しい提案・提言
- ①木賃宿（食泊分離型の施設）、湯治をテーマにした宿泊施設から現代版木賃宿化への提言
- ②ワーケーション、家族ロングステイの問題となる教育問題の解決策を探る研究
- ③季節（時間）波動の大きい一次産業をロングステイヤーが即戦力となれる win win Stay の提

4. 公募のタイプ

①助成金あり

申請書の審査を行い理事会にて採択分科会を決定します。助成額については下記をご参照ください。

②助成金なし

分科会テーマが本学会の目的に沿うものか、簡単な審査を行い理事会にて決定します。

5. 応募資格

会費を納入済みの会員であればどなたでも応募できます。分科会の代表申請者は、会員である必要がありますが、他メンバーは非会員でも構いません。分科会の最小構成単位は2名からとなります。また、複数の分科会に代表申請者として応募することはできません

6. 応募方法

分科会応募を希望の方は、ロングステイ観光学会ホームページから申請書の入力フォームをダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局までメール添付で提出してください。

7. 活動の期間

活動期間は2022年4月（理事会による審査で承認された後随時）から2023年2月末を予定しています。分科会活動は単年度ごとの申請を基本としますが、継続したテーマで毎年応募していただくことも可能です。

8. 助成額と使途

1件あたりの助成金は原則5万円までです。応募グループ数や研究目的などをもとに検討し、各分科会への助成額を理事会にて決定します。助成金の使用目的は、会場費、講師謝礼（学会員及び分科会メンバーに対して謝礼を払うことはできません）、交通費、資料制作・印刷費およびその他研究遂行上必要な費用です。なお、3万円以上の備品の購入は認められません。各年度の2月末日までに事務局へ証票書類を伴う会計報告書提出してください。助成金は年度末に一括してお支払いします。

9. 活動成果の発表の義務

採択された分科会は、学会ホームページにて公開します。各分科会は、2023年2月末または3月に開催予定の全国大会における分科会報告セッションにて研究成果を報告してください。あわせて全国大会時に配布される論文集に掲載される報告書を作成してください。報告書

の分量は以下となります。

- ① 助成金あり A4版で4ページ以上（フォーマットについては後日お知らせします）
- ② 助成金なし A4版で2ページ以上（フォーマットについては後日お知らせします）

なお助成金ありの分科会が研究成果を公表・公開する場合は、ロングステイ観光学会分科会助成金を受けた旨を明記してください。なるべく分科会活動に参加希望の会員が広く参加可能な研究会などを積極的に実施していただくことをお願いします。

10. 審査

応募された分科会は、担当理事・幹事による審査委員会の選考を経て、理事会にて決定されます。審査の以下の4つの評定項目について行います。審査委員会に応募者（助成の申請者やグループの参加メンバー）は加わることはできません。理事ほか役員が応募する場合も同様です。

① テーマの新規性と独創性
<ul style="list-style-type: none">● 取り上げるテーマが長期滞在型・ロングステイ観光に新たな視点をもたらすものであるか● テーマの着眼点またはアプローチがオリジナリティに富むものか
② 研究の有効性
<ul style="list-style-type: none">● 研究から得られると想定される知見が、長期滞在型・ロングステイ観光の普及や学術的研究の深化に貢献することが期待できるか
③ 研究計画の妥当性
<ul style="list-style-type: none">● 研究を遂行するにあたり十分な実施体制が整っているか● 研究期間中に一定の成果をあげる見込みがあるか
④ 研究経費の妥当性（助成金ありの場合のみ）
<ul style="list-style-type: none">● 助成金申請額の算出根拠が適切であるか

会員の皆様からの応募をお待ちしています。

問い合わせ先

ロングステイ観光学会事務局 分科会助成金担当

メールアドレス asjlt.office@gmail.com、info@asjlt.jp